

第11回予防接種基本方針部会資料抜粋

厚生労働省 健康局結核感染症課 予防接種室
平成26年10月8日
第5回予防接種・ワクチン分科会

水痘のサーベイランスの強化について

背景

- 今般、水痘、成人肺炎球菌について平成26年10月を目処に定期接種が実施される予定である。
- また、平成26年4月から施行された「予防接種基本計画」の「第6 予防接種の有効性及び安全性の向上に関する施策を推進するための基本的事項」において、国は、科学的根拠に基づくデータを可能な限り収集し、感染症発生動向調査による疾病の発生状況及び重篤度の評価、感染症流行予測調査による抗体保有状況の調査並びにワクチンの国家検定による適正管理等を通じて、予防接種の有効性及び安全性の向上を図る、とされている。そのため、水痘についても、定期接種の導入後における当該ワクチンの有効性及び安全性の評価のため、水痘の発生状況及び重篤度の評価をする必要がある。
- 現在、水痘は感染症法の5類感染症として位置づけられ、小児科定点からの届出対象疾病になっているが、重篤度が高いと想定される水痘の入院症例かどうかは把握されていない。今後、ワクチン接種により、疾病の発生動向は大きく変化することが想定されており、水痘についても、その動向を十分に把握できる体制を講じておく必要がある。

必要な対応

- 水痘の重症例は、水痘に伴う軟部組織の感染症、脳炎、肺炎、肝炎等の合併症を有し、その多くは入院して治療を受けていると考えられる。
- また、水痘の定期接種化の効果が最も顕著に表れるのは、重症水痘の減少であると推定される。したがって、水痘の入院症例を全数届出対象に追加して、主として重症例の発生動向を把握することによりワクチン評価の一つとしたい。なお、小児科定点からの報告も継続し、定点報告数の推移も評価の指標の一つとする。

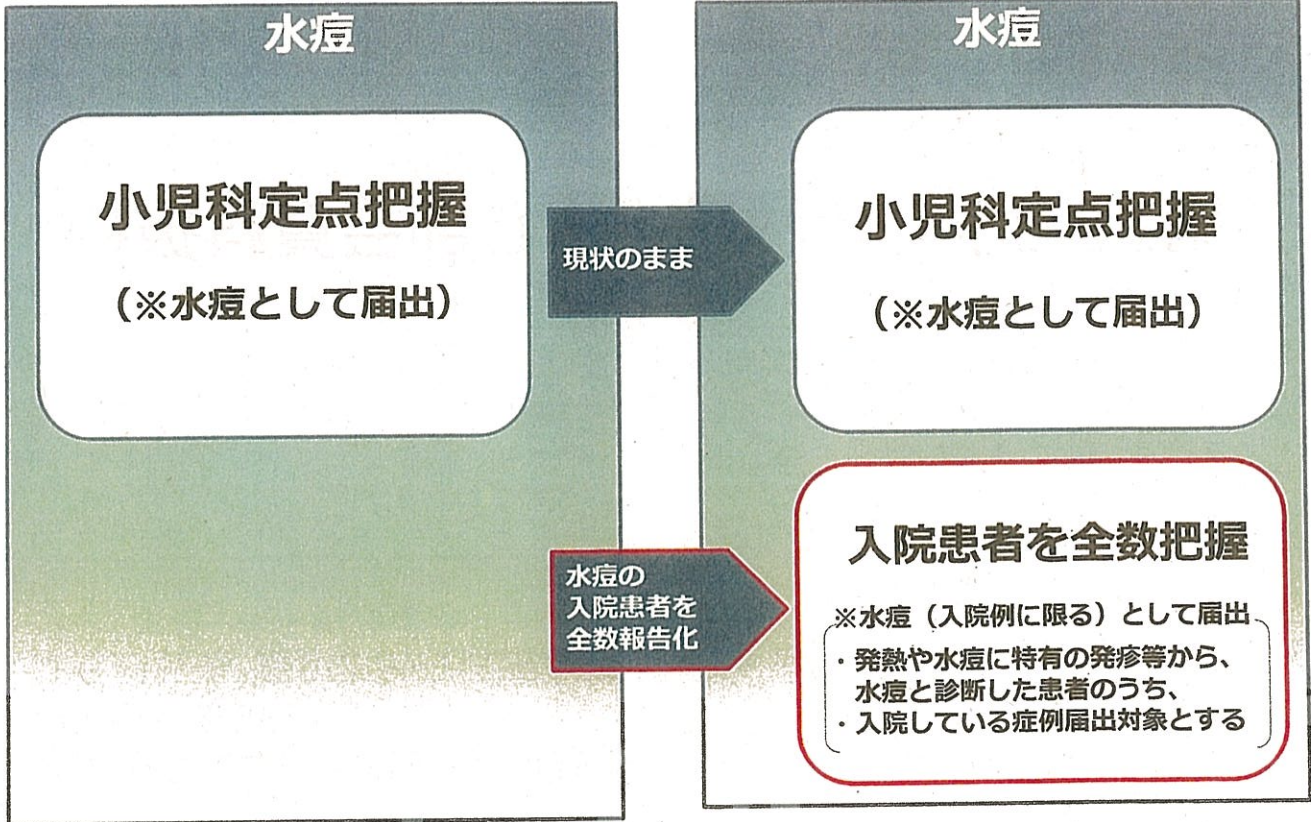
結論

水痘の発生動向調査において、これまでの小児科定点報告を継続しつつ、入院症例の全数を把握することとした。【省令改正】
(平成26年9月9日公布) (平成26年9月19日施行)

水痘のサーベイランス変更のイメージ

【変更前】

【H26.9.19～】



（参考）予防接種基本計画の概要

第1 予防接種に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関する基本的な方向

- 「予防接種・ワクチンで防げる疾病は予防すること」を基本的な理念とすること。
- 予防接種の効果及びリスクについて、科学的根拠を基に比較衡量する。

第2 国、地方公共団体その他関係者の予防接種に関する役割分担に関する事項

- 国：定期接種の対象疾病等の決定及び普及啓発等。
 都道府県：関係機関等との連携及び保健所等の機能強化等。
 市町村：適正かつ効率的な予防接種の実施、健康被害の救済等。
 医療関係者：予防接種の実施、医学的管理等。
 製造販売業者：安全かつ有効なワクチンの研究開発、安定的な供給等。
 被接種者及び保護者：正しい知識を持ち、自らの意思で接種することについて十分認識・理解。
 その他（報道機関、教育関係者、各関係学会等）：予防接種の効果及びリスクに関する普及啓発等。

第3 予防接種に関する施策の総合的かつ計画的な推進に係る目標に関する事項

- 当面の目標を「ワクチン・ギャップ」の解消、接種率の向上、新たなワクチン開発、普及啓発等とする。
- おたふくかぜ、B型肝炎及びロタウイルス感染症について、検討した上で必要な措置を講じる。
- 予防接種基本計画は少なくとも5年毎に再検討。必要があるときは、変更。

第4 予防接種の適正な実施に関する施策を推進するための基本的事項

- ワクチンの価格に関する情報の提供。
- 健康被害救済制度については、客観的かつ中立的な審査を実施。制度の周知等を実施。
- 接種記録については、母子健康手帳の活用を図る。国は、予防接種台帳のデータ管理の普及及び活用について検討。

第5 予防接種の研究開発の推進及びワクチンの供給の確保に関する施策を推進するための基本的事項

- 6つのワクチン（MRワクチンを含む混合ワクチン、DPT-I PVを含む混合ワクチン、改良されたインフルエンザワクチン、ノロウイルスワクチン、RSウイルスワクチン及び帯状疱疹ワクチン）を開発優先度の高いワクチンとする。
- 危機管理の観点から、ワクチンを国内で製造できる体制を整備する必要。

第6 予防接種の有効性及び安全性の向上に関する施策を推進するための基本的事項

- 科学的根拠に基づくデータを収集。有効性及び安全性を向上。
- 定期接種の副反応報告については、審議会において定期的に評価、検討及び公表する仕組みを充実。

第7 予防接種に関する国際的な連携に関する事項

- WHO等との連携を強化。
- 諸外国の予防接種制度の動向等の把握に努める。

第8 その他予防接種に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関する重要事項

- 同時接種、接種間隔等について、分科会等で検討。
- 衛生部局以外の部局との連携を強化。

(参考) 現行の感染症サーベイランスの疾病分類

感染症類型	感 染 症 名 等
1 類 感 染 症	法 エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱
2 類 感 染 症	法 急性灰白髄炎、ジフテリア 、重症急性呼吸器症候群（SARSコロナウイルスに限る）、 結核 、鳥インフルエンザ（病原体がインフルエンザウイルスA属インフルエンザウイルスであってその血清型がH5N1であるものに限る。以下「鳥インフルエンザ（H5N1）」という。）
3 類 感 染 症	法 腸管出血性大腸菌感染症、コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パラチフス
4 類 感 染 症	法 E型肝炎、A型肝炎、 黄熱 、Q熱、狂犬病、炭疽、鳥インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1）を除く。）、ポツリヌス症、マラリア、野兔病 政令 ウエストナイル熱、エキノコックス症、オウム病、オムスク出血熱、回歸熱、キャサナル森林病、コクシジオイデス症、サル痘、重症熱性血小板減少症候群、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、チクングニア熱、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、ニパウイルス感染症、 日本紅斑熱 、 日本脳炎 、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱
5 類 感 染 症	法 インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。） 、ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）、クリプトスポリジウム症、後天性免疫不全症候群、性器クラミジア感染症、梅毒、 麻しん 、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 省令 アメーバ赤痢、RSウイルス感染症、咽頭結膜炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、 感染性胃腸炎 、急性出血性結膜炎、急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）、 クラミジア肺炎（オウム病を除く。） 、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、 細菌性髄膜炎（<u>侵襲性インフルエンザ菌感染症</u>、<u>侵襲性髄膜炎菌感染症</u>、<u>侵襲性肺炎球菌感染症</u>を除く。） 、ジアルジア症、 侵襲性インフルエンザ菌感染症 、 侵襲性髄膜炎菌感染症 、 侵襲性肺炎球菌感染症 、 水痘 、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、先天性風しん症候群、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、 破傷風 、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、 百日咳 、 風しん 、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ肺炎、 無菌性髄膜炎 、 薬剤耐性アシネトバクター感染症 、 薬剤耐性緑膿菌感染症 、 流行性角結膜炎 、 流行性耳下腺炎 、 淋菌感染症
新型インフルエンザ等感染症	法 新型インフルエンザ、再興型インフルエンザ

※ 下線の感染症は、定点把握対象疾患
 ※ 赤字の感染症は、定期接種対象疾患
 ※ 青字の感染症は、平成26年導入予定のワクチン接種対象疾患

(参考) 指定届出機関（定点）における届出対象疾患について

指定届出機関	届出の対象となる感染症名等
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、 感染性胃腸炎 、 水痘 、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、百日咳、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎
インフルエンザ定点	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)
眼科定点	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
性感染症定点	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹定点	インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除くインフルエンザによる入院患者。）、クラミジア肺炎（オウム病を除く。）、細菌性髄膜炎（ 侵襲性インフルエンザ菌感染症 、 侵襲性髄膜炎菌感染症 、 侵襲性肺炎球菌感染症 を除く。）、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、 薬剤耐性アシネトバクター感染症 、 薬剤耐性緑膿菌感染症 、 感染性胃腸炎 （病原体がロタウイルスであるものに限る。)

再々改訂総合表 都道府県別麻しんワクチン接種率 2013年度最終評価 接種対象群別結果一覧

2013年4月1日～2014年3月31日

95%以上		90～95%未満		80～90%未満		70～80%未満		70%未満	
No.	都道府県	第1期	第2期						
	合計	95.5	93.0						
1	北海道	94.2	94.7						
2	青森県	94.0	95.6						
3	岩手県	95.1	94.5						
4	宮城県	98.6	93.3						
5	秋田県	97.4	96.3						
6	山形県	97.2	95.0						
7	福島県	93.2	91.6						
8	茨城県	96.3	94.7						
9	栃木県	97.3	93.5						
10	群馬県	96.7	95.2						
11	埼玉県	95.9	92.4						
12	千葉県	96.4	92.9						
13	東京都	95.9	89.7						
14	神奈川県	96.3	91.1						
15	新潟県	96.3	96.3						
16	富山県	94.2	94.7						
17	石川県	94.7	95.1						
18	福井県	94.8	94.7						
19	山梨県	95.4	93.8						
20	長野県	97.2	94.0						
21	岐阜県	96.5	91.4						
22	静岡県	97.0	93.0						
23	愛知県	96.4	94.4						
24	三重県	95.5	92.1						
25	滋賀県	95.6	93.3						
26	京都府	91.0	94.3						
27	大阪府	95.1	92.2						
28	兵庫県	95.4	94.0						
29	奈良県	94.5	92.8						
30	和歌山県	95.6	93.9						
31	鳥取県	98.6	93.8						
32	島根県	94.3	94.6						
33	岡山県	94.5	94.9						
34	広島県	94.5	91.1						
35	山口県	96.2	93.8						
36	徳島県	94.2	92.5						
37	香川県	92.9	95.5						
38	愛媛県	96.0	91.5						
39	高知県	95.1	92.1						
40	福岡県	96.6	94.5						
41	佐賀県	93.7	93.9						
42	長崎県	91.3	93.9						
43	熊本県	92.6	97.3						
44	大分県	94.5	94.5						
45	宮崎県	94.5	94.6						
46	鹿児島県	94.8	88.5						
47	沖縄県	92.3	88.9						

厚生労働省健康局結核感染症課、国立感染症研究所感染症疫学センター

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

再々改訂総合表 都道府県別風しんワクチン接種率 2013年度最終評価 接種対象群別結果一覧

2013年4月1日～2014年3月31日

95%以上	90～95%未満	80～90%未満	70～80%未満	70%未満
No.	都道府県	第1期	第2期	
	合計	95.5	93.0	
1	北海道	94.2	94.7	
2	青森県	94.0	95.6	
3	岩手県	95.1	94.5	
4	宮城県	98.6	93.3	
5	秋田県	97.3	96.3	
6	山形県	97.2	95.0	
7	福島県	93.2	91.6	
8	茨城県	96.3	94.7	
9	栃木県	97.3	93.5	
10	群馬県	96.7	95.2	
11	埼玉県	95.9	92.4	
12	千葉県	96.4	92.9	
13	東京都	95.9	89.7	
14	神奈川県	96.3	91.1	
15	新潟県	96.3	96.3	
16	富山県	94.2	94.7	
17	石川県	94.7	95.1	
18	福井県	94.8	94.7	
19	山梨県	95.3	93.8	
20	長野県	97.2	94.0	
21	岐阜県	96.5	91.4	
22	静岡県	97.0	93.0	
23	愛知県	96.4	94.4	
24	三重県	95.5	92.1	
25	滋賀県	95.6	93.3	
26	京都府	91.0	94.3	
27	大阪府	95.1	92.2	
28	兵庫県	95.4	94.0	
29	奈良県	94.6	92.8	
30	和歌山県	95.6	93.9	
31	鳥取県	98.6	93.8	
32	島根県	94.3	94.6	
33	岡山県	94.5	94.8	
34	広島県	94.6	91.1	
35	山口県	96.2	93.8	
36	徳島県	94.2	92.5	
37	香川県	92.9	95.5	
38	愛媛県	96.0	91.5	
39	高知県	95.1	92.1	
40	福岡県	96.5	94.5	
41	佐賀県	93.7	93.9	
42	長崎県	91.3	93.9	
43	熊本県	92.6	97.3	
44	大分県	94.5	94.5	
45	宮崎県	94.5	94.6	
46	鹿児島県	94.8	88.5	
47	沖縄県	92.3	88.9	

厚生労働省健康局結核感染症課、国立感染症研究所感染症疫学センター
 ※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

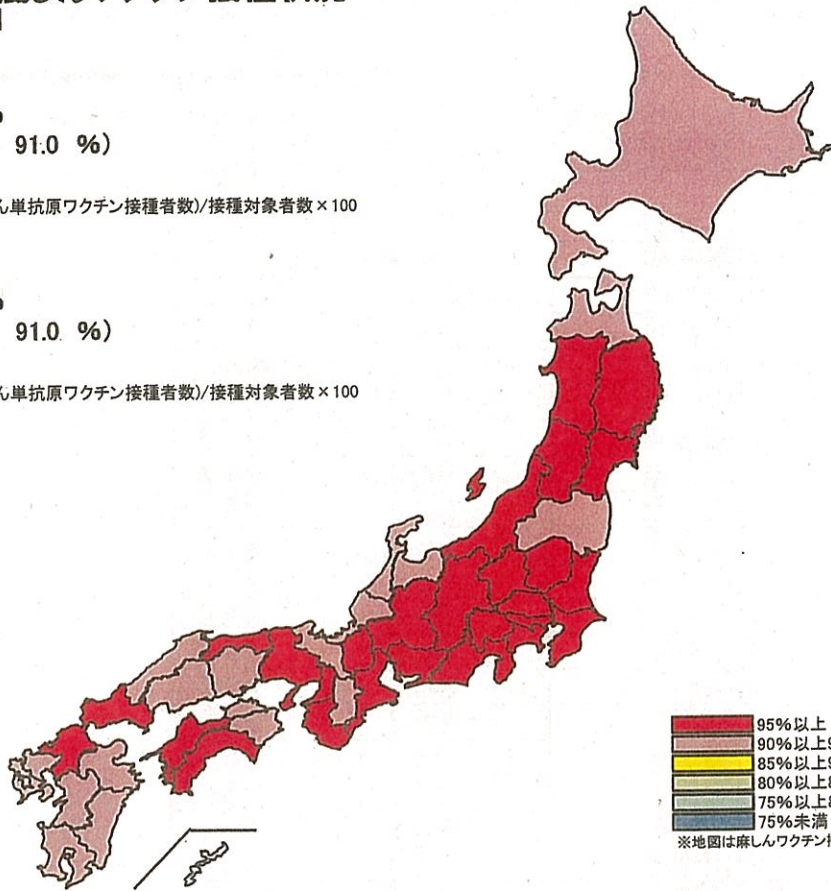
平成25年度（2013年度）
 再々改訂第1期 麻しん風しんワクチン接種状況
 【2013年4月1日～2014年3月31日】

麻しんワクチン接種率:95.5 %
 (宮城県 98.6 % ~ 京都府 91.0 %)

※麻しんワクチン接種率(%)
 =(麻しん風しん混合ワクチン接種者数+麻しん単抗原ワクチン接種者数)/接種対象者数×100

風しんワクチン接種率:95.5 %
 (宮城県 98.6 % ~ 京都府 91.0 %)

※風しんワクチン接種率(%)
 =(麻しん風しん混合ワクチン接種者数+風しん単抗原ワクチン接種者数)/接種対象者数×100



厚生労働省健康局結核感染症課，国立感染症研究所感染症疫学センター

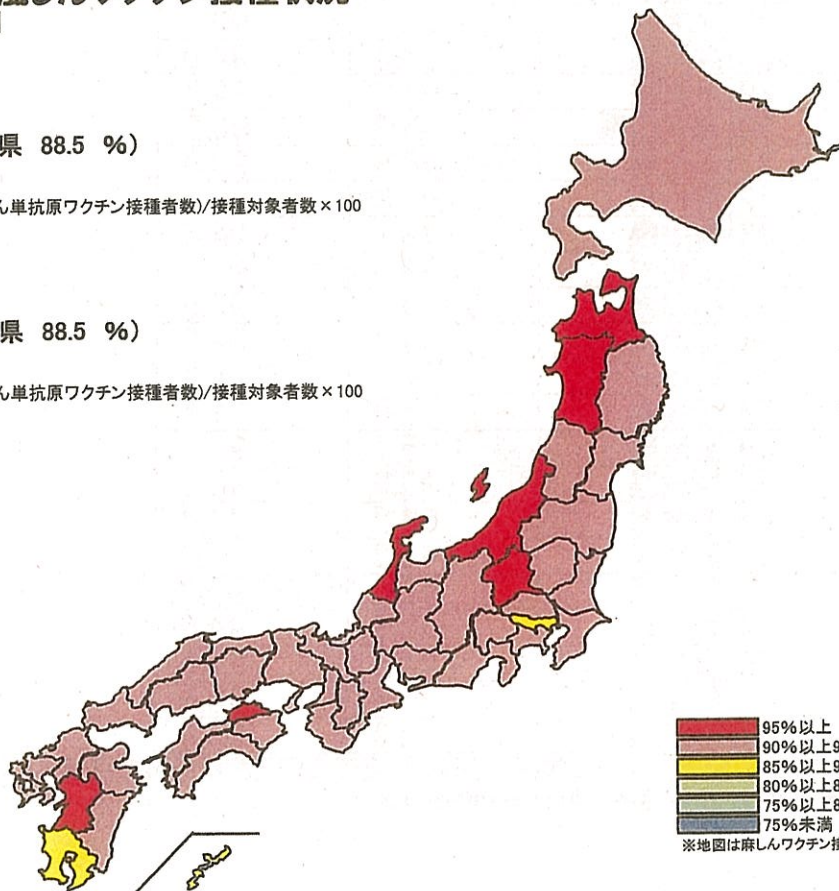
平成25年度（2013年度）
 再々改訂第1期 麻しん風しんワクチン接種状況
 【2013年4月1日～2014年3月31日】

麻しんワクチン接種率:93 %
 (熊本県 97.3 % ~ 鹿児島県 88.5 %)

※麻しんワクチン接種率(%)
 =(麻しん風しん混合ワクチン接種者数+麻しん単抗原ワクチン接種者数)/接種対象者数×100

風しんワクチン接種率:93 %
 (熊本県 97.3 % ~ 鹿児島県 88.5 %)

※風しんワクチン接種率(%)
 =(麻しん風しん混合ワクチン接種者数+風しん単抗原ワクチン接種者数)/接種対象者数×100



厚生労働省健康局結核感染症課，国立感染症研究所感染症疫学センター

再々改訂表1-1 2013年度 第1期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2014年3月31日現在、最終評価

順位は麻しんワクチン接種率⑤に基づく

接種対象者数①は2013年10月1日現在の第1期対象者の数、②、③、④は2013年度における接種者の数

MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

2013年度 第1期
2013年4月1日～2014年3月31日

95%以上 90～95%未満 80～90%未満 70～80%未満 70%未満

第1期

順位	都道府県	第1期					
		麻しん風しん ワクチン接種 対象者数 (人)：①	MRワクチン 接種者数(人)： ②	麻しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：③	風しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：④	麻しんワクチン 接種率(%) ：⑤=(②+ ③)/①×100	風しんワクチン 接種率(%) ：⑥=(②+ ④)/①×100
	合計	1,051,564	1,004,521	107	85	95.5	95.5
1	宮城県	18,659	18,402	1	0	98.6	98.6
	鳥取県	4,668	4,603	0	0	98.6	98.6
3	秋田県	6,455	6,283	1	0	97.4	97.3
4	栃木県	16,019	15,584	1	0	97.3	97.3
	山形県	8,372	8,141	0	0	97.2	97.2
5	長野県	17,174	16,684	1	2	97.2	97.2
7	静岡県	31,279	30,340	3	2	97.0	97.0
8	群馬県	15,184	14,688	1	1	96.7	96.7
9	福岡県	45,798	44,212	8	3	96.6	96.5
10	岐阜県	16,954	16,356	2	1	96.5	96.5
	千葉県	49,818	48,024	5	6	96.4	96.4
11	愛知県	69,587	67,108	0	0	96.4	96.4
	茨城県	23,263	22,391	1	1	96.3	96.3
13	神奈川県	76,421	73,602	9	4	96.3	96.3
	新潟県	17,348	16,705	1	3	96.3	96.3
16	山口県	10,944	10,530	2	1	96.2	96.2
17	愛媛県	11,192	10,743	0	0	96.0	96.0
	埼玉県	59,197	56,792	4	5	95.9	95.9
18	東京都	107,851	103,370	22	21	95.9	95.9
	滋賀県	13,501	12,904	1	1	95.6	95.6
20	和歌山県	7,507	7,177	0	0	95.6	95.6
22	三重県	15,235	14,549	0	0	95.5	95.5
	山梨県	6,455	6,154	1	0	95.4	95.3
23	兵庫県	47,100	44,940	2	2	95.4	95.4
	岩手県	9,300	8,843	0	0	95.1	95.1
25	大阪府	74,156	70,513	20	5	95.1	95.1
	高知県	5,139	4,886	0	0	95.1	95.1
	福井県	6,701	6,350	0	0	94.8	94.8
28	鹿児島県	15,072	14,284	0	0	94.8	94.8
	石川県	9,654	9,139	2	0	94.7	94.7
	奈良県	10,764	10,174	1	11	94.5	94.6
	岡山県	16,514	15,598	1	4	94.5	94.5
31	広島県	25,225	23,849	1	5	94.5	94.6
	大分県	9,755	9,221	1	0	94.5	94.5
	宮崎県	9,943	9,392	0	1	94.5	94.5
36	島根県	5,624	5,301	0	0	94.3	94.3
	北海道	38,758	36,524	3	2	94.2	94.2
37	富山県	8,107	7,637	0	0	94.2	94.2
	徳島県	5,935	5,592	0	1	94.2	94.2
40	青森県	9,170	8,620	0	0	94.0	94.0
41	佐賀県	7,561	7,083	0	1	93.7	93.7
42	福島県	13,868	12,924	2	0	93.2	93.2
43	香川県	8,480	7,877	0	0	92.9	92.9
44	熊本県	16,248	15,050	0	0	92.6	92.6
45	沖縄県	16,971	15,657	0	0	92.3	92.3
46	長崎県	11,934	10,891	1	1	91.3	91.3
47	京都府	20,704	18,834	9	1	91.0	91.0

厚生労働省健康局結核感染症課、国立感染症研究所感染症疫学センター

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

再々改訂表1-2 2013年度 第2期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2014年3月31日現在、最終評価

順位は麻しんワクチン接種率⑤に基づく

接種対象者数①は2013年4月1日現在の第2期対象者の数、②、③、④は2013年度における接種者の数

MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

2013年度 第2期
2013年4月1日～2014年3月31日

95%以上 90～95%未満 80～90%未満 70～80%未満 70%未満

順位	都道府県	第2期					
		麻しん風しん ワクチン接種 対象者数 (人)：①	MRワクチン 接種者数(人)： ②	麻しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：③	風しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：④	麻しんワクチン 接種率(%) ：⑤= (②+ ③) / ① × 100	風しんワクチン 接種率(%) ：⑥= (②+ ④) / ① × 100
	合計	1,102,300	1,024,753	79	76	93.0	93.0
1	熊本県	16,333	15,888	0	0	97.3	97.3
2	秋田県	7,477	7,200	0	0	96.3	96.3
	新潟県	18,701	18,006	3	1	96.3	96.3
4	青森県	10,179	9,735	0	0	95.6	95.6
5	香川県	8,743	8,349	0	0	95.5	95.5
6	群馬県	17,334	16,496	1	2	95.2	95.2
7	石川県	10,493	9,984	0	0	95.1	95.1
8	山形県	9,338	8,872	0	0	95.0	95.0
9	岡山県	17,450	16,543	9	7	94.9	94.8
	北海道	41,191	39,016	2	2	94.7	94.7
10	茨城県	25,265	23,914	1	3	94.7	94.7
	富山県	8,877	8,405	2	1	94.7	94.7
	福井県	7,273	6,885	0	0	94.7	94.7
14	島根県	5,920	5,602	0	0	94.6	94.6
	宮崎県	10,523	9,953	1	0	94.6	94.6
	岩手県	10,240	9,679	1	0	94.5	94.5
16	福岡県	46,658	44,076	2	0	94.5	94.5
	大分県	10,180	9,624	0	1	94.5	94.5
19	愛知県	70,405	66,488	1	0	94.4	94.4
20	京都府	21,879	20,624	3	1	94.3	94.3
21	長野県	18,890	17,750	1	0	94.0	94.0
	兵庫県	49,414	46,441	1	3	94.0	94.0
	和歌山県	7,987	7,503	0	0	93.9	93.9
23	佐賀県	7,921	7,435	0	0	93.9	93.9
	長崎県	12,136	11,396	0	0	93.9	93.9
26	山梨県	7,180	6,733	0	1	93.8	93.8
	鳥取県	5,071	4,757	0	0	93.8	93.8
	山口県	11,836	11,106	2	0	93.8	93.8
29	栃木県	17,556	16,422	0	0	93.5	93.5
30	宮城県	19,969	18,623	1	0	93.3	93.3
	滋賀県	14,103	13,154	2	6	93.3	93.3
32	静岡県	33,752	31,395	0	1	93.0	93.0
33	千葉県	53,922	50,080	3	5	92.9	92.9
34	奈良県	11,762	10,914	0	1	92.8	92.8
35	徳島県	6,294	5,823	0	0	92.5	92.5
36	埼玉県	63,712	58,864	4	5	92.4	92.4
37	大阪府	76,217	70,264	12	7	92.2	92.2
38	三重県	16,583	15,277	1	0	92.1	92.1
	高知県	5,722	5,269	0	0	92.1	92.1
40	福島県	15,909	14,574	0	0	91.6	91.6
41	愛媛県	12,074	11,045	0	0	91.5	91.5
42	岐阜県	18,580	16,988	1	1	91.4	91.4
43	神奈川県	79,416	72,377	8	9	91.1	91.1
	広島県	25,881	23,572	2	0	91.1	91.1
45	東京都	103,775	93,101	15	19	89.7	89.7
46	沖縄県	16,878	15,002	0	0	88.9	88.9
47	鹿児島県	15,301	13,549	0	0	88.5	88.5

厚生労働省健康局結核感染症課、国立感染症研究所感染症疫学センター

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

再々改訂表2 2013年度最終評価 都道府県別麻疹ワクチン接種率 伸び率の比較

伸び率が高い5都道府県
2013年3月末と2014年3月末の比較

No.	都道府県	伸び率(ポイント)	
		第1期	第2期
	合計	-2.0	-0.7
1	北海道	-2.5	0.2
2	青森県	-5.5	-1.4
3	岩手県	-3.7	0.7
4	宮城県	0.3	-2.7
5	秋田県	2.3	-0.5
6	山形県	-3.3	-1.0
7	福島県	-1.8	-0.6
8	茨城県	-1.2	-0.5
9	栃木県	-0.2	-1.4
10	群馬県	1.4	-0.3
11	埼玉県	-2.1	-0.6
12	千葉県	-0.9	-0.7
13	東京都	-2.1	-2.1
14	神奈川県	-0.9	-1.8
15	新潟県	-2.0	-0.5
16	富山県	-6.6	-1.7
17	石川県	-5.1	-0.1
18	福井県	-5.1	-0.5
19	山梨県	-0.8	0.3
20	長野県	3.5	-0.6
21	岐阜県	0.7	-0.9
22	静岡県	-0.7	1.6
23	愛知県	-0.4	0.6
24	三重県	-1.7	-1.5
25	滋賀県	-3.0	-2.0
26	京都府	-6.3	0.2
27	大阪府	-3.0	-0.8
28	兵庫県	-3.3	0.6
29	奈良県	-1.0	1.7
30	和歌山県	-5.5	-0.4
31	鳥取県	-0.4	-1.1
32	島根県	-6.3	-1.5
33	岡山県	-2.1	-0.9
34	広島県	-3.1	-1.9
35	山口県	1.9	0.1
36	徳島県	-6.4	-5.1
37	香川県	-5.4	0.2
38	愛媛県	-1.1	-2.3
39	高知県	-0.3	0.8
40	福岡県	-1.9	-1.4
41	佐賀県	-6.0	-0.6
42	長崎県	-6.8	0.2
43	熊本県	-5.5	2.6
44	大分県	-3.0	1.4
45	宮崎県	-4.7	0.3
46	鹿児島県	-0.1	-1.4
47	沖縄県	-1.7	-1.4

参考: 2014年3月末

No.	都道府県	第1期	第2期
	合計	95.5	93.0
1	北海道	94.2	94.7
2	青森県	94.0	95.6
3	岩手県	95.1	94.5
4	宮城県	98.6	93.3
5	秋田県	97.4	96.3
6	山形県	97.2	95.0
7	福島県	93.2	91.6
8	茨城県	96.3	94.7
9	栃木県	97.3	93.5
10	群馬県	96.7	95.2
11	埼玉県	95.9	92.4
12	千葉県	96.4	92.9
13	東京都	95.9	89.7
14	神奈川県	96.3	91.1
15	新潟県	96.3	96.3
16	富山県	94.2	94.7
17	石川県	94.7	95.1
18	福井県	94.8	94.7
19	山梨県	95.4	93.8
20	長野県	97.2	94.0
21	岐阜県	96.5	91.4
22	静岡県	97.0	93.0
23	愛知県	96.4	94.4
24	三重県	95.5	92.1
25	滋賀県	95.6	93.3
26	京都府	91.0	94.3
27	大阪府	95.1	92.2
28	兵庫県	95.4	94.0
29	奈良県	94.5	92.8
30	和歌山県	95.6	93.9
31	鳥取県	98.6	93.8
32	島根県	94.3	94.6
33	岡山県	94.5	94.9
34	広島県	94.5	91.1
35	山口県	96.2	93.8
36	徳島県	94.2	92.5
37	香川県	92.9	95.5
38	愛媛県	96.0	91.5
39	高知県	95.1	92.1
40	福岡県	96.6	94.5
41	佐賀県	93.7	93.9
42	長崎県	91.3	93.9
43	熊本県	92.6	97.3
44	大分県	94.5	94.5
45	宮崎県	94.5	94.6
46	鹿児島県	94.8	88.5
47	沖縄県	92.3	88.9

参考: 2013年3月末

No.	都道府県	第1期	第2期	第3期	第4期
	合計	97.5	93.7	88.8	83.2
1	北海道	96.7	94.5	84.7	83.8
2	青森県	99.5	97.0	95.6	90.7
3	岩手県	98.8	93.8	90.9	91.3
4	宮城県	98.3	96.0	89.9	85.8
5	秋田県	95.1	96.8	94.5	93.5
6	山形県	101	96.0	93.9	94.8
7	福島県	95	92.2	86.9	83.7
8	茨城県	97.5	95.2	96.9	87.6
9	栃木県	97.5	94.9	94.9	89.9
10	群馬県	95.3	95.5	94.7	88.5
11	埼玉県	98	93.0	88.3	81.2
12	千葉県	97.3	93.6	91.4	80.5
13	東京都	98	91.8	87.5	77.3
14	神奈川県	97.2	92.9	83.6	68.2
15	新潟県	98.3	96.8	95.2	91.5
16	富山県	101	96.4	96.4	93.7
17	石川県	99.8	95.2	93.0	90.4
18	福井県	99.9	95.2	94.6	91.5
19	山梨県	96.2	93.5	90.1	85.5
20	長野県	93.7	94.6	93.4	87.0
21	岐阜県	95.8	92.3	91.7	87.4
22	静岡県	97.7	91.4	88.7	87.9
23	愛知県	96.8	93.8	86.6	86.9
24	三重県	97.2	93.6	88.5	86.3
25	滋賀県	98.6	95.3	84.9	84.0
26	京都府	97.3	94.1	93.4	79.1
27	大阪府	98.1	93.0	89.6	78.2
28	兵庫県	98.7	93.4	87.5	83.0
29	奈良県	95.5	91.1	85.3	85.5
30	和歌山県	101	94.3	92.6	87.8
31	鳥取県	99	94.9	91.7	89.9
32	島根県	101	96.1	94.2	94.7
33	岡山県	96.6	95.8	91.6	87.7
34	広島県	97.6	93.0	87.4	82.0
35	山口県	94.3	93.7	90.9	88.3
36	徳島県	101	97.6	91.6	90.0
37	香川県	98.3	95.3	91.1	87.3
38	愛媛県	97.1	93.8	86.5	81.4
39	高知県	95.4	91.3	86.8	81.9
40	福岡県	98.5	95.9	83.4	79.5
41	佐賀県	99.7	94.5	88.2	90.2
42	長崎県	98.1	93.7	89.5	89.2
43	熊本県	98.1	94.7	91.4	86.9
44	大分県	97.5	93.1	89.5	88.2
45	宮崎県	99.2	94.3	90.9	86.3
46	鹿児島県	94.9	89.9	80.3	85.7
47	沖縄県	94	90.3	78.4	81.4

厚生労働省健康局結核感染症課、国立感染症研究所感染症疫学センター

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

